

AWS上での監視サーバー(Zabbix)構築【1.AWSの基本設定】

AWS



AWS上での監視サーバー(Zabbix)構築【1.AWSの基本設定】

2021.09.01 2021.08.31

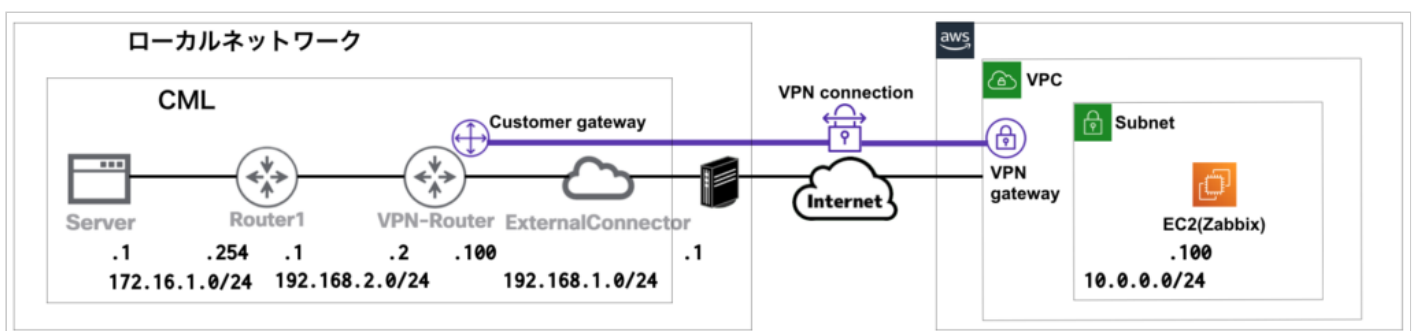
監視サーバーをAWS上で構築し、CML上のネットワーク機器/サーバーを監視します。監視ソフトウェアはZabbixを利用します。

[【次回】AWS上での監視サーバー\(Zabbix\)構築【2.AWSのEC2構築】](#)

ネットワーク構成

下記のネットワーク環境を構築し、AWS上のEC2(Zabbixサーバー)から、CML上のネットワーク機器/サーバーを監視できるようにしていきます。

[【参考】AWSサイト間VPNの構築 \(1.AWSの基本設定\)](#)

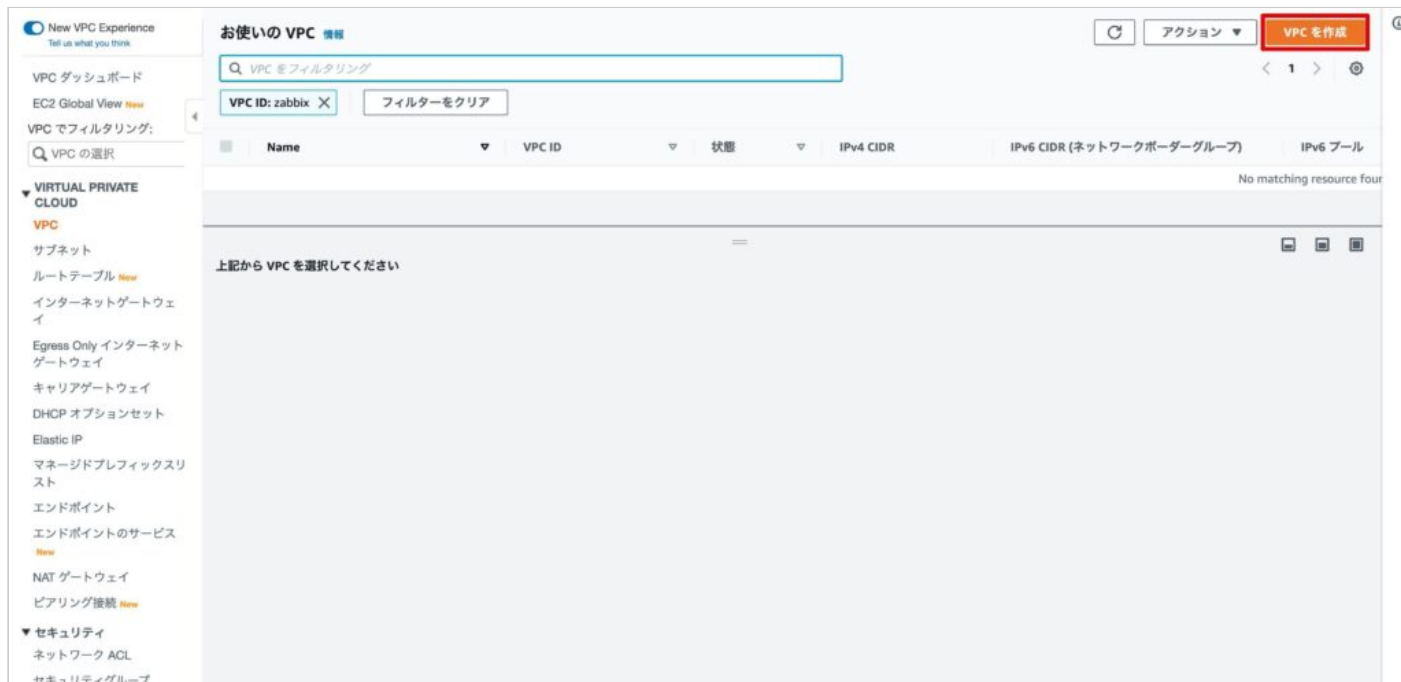


AWSの基本設定

AWS上で、VPC・インターネットゲートウェイ・サブネット・ルートテーブル・セキュリティグループを作成/設定していきます。

VPCの作成

検証用のVPCを作成します。VPCの画面から「VPCを作成」をクリックします。



「aws-zabbix-test」という名前で作成し、「10.0.0.0/16」のCIDRブロックを割り当てています。

VPC を作成 情報

VPC は、Amazon EC2 インスタンスなどの AWS オブジェクトによって使用される AWS クラウドの分離された部分です。

VPC の設定

名前タグ - オプション

「Name」というキーと、指定した値を使用してタグを作成します。

aws-zabbix-test

IPv4 CIDR ブロック 情報

10.0.0.0/16

IPv6 CIDR ブロック 情報

- ☒ IPv6 CIDR ブロックなし
- ☐ Amazon 提供の IPv6 CIDR ブロック
- ☐ IPv6 CIDR 所有 (ユーザー所有)

テナンシー 情報

デフォルト

インターネットゲートウェイの作成

インターネット経由でVPN構築/Zabbixの設定等をするため、インターネットゲートウェイを作成します。

インターネットゲートウェイ 情報

検索: インターネットゲートウェイをフィルタ

VPC ID: zabbix X フィルターをクリア

Name	インターネットゲートウェイ ID	状態	VPC ID	所有者
No matching resource found				

上記からインターネットゲートウェイを選択してください

「zabbix-test-igw」という名前で作成しています。

VPC > インターネットゲートウェイ > インターネットゲートウェイの作成

インターネットゲートウェイの作成 情報

インターネットゲートウェイは、VPC をインターネットに接続する仮想ルーターです。新しいインターネットゲートウェイを作成するには、ゲートウェイの名前を以下から指定します。

インターネットゲートウェイの設定

名前タグ

「Name」というキーと、指定した値を使用してタグを作成します。

タグ - オプション

タグは、AWS リソースに割り当てるラベルです。各タグはキーとオプションの値で構成されています。タグを使用してリソースを検索およびフィルタリングしたり、AWS のコストを追跡したりできます。

キー



値 - オプション

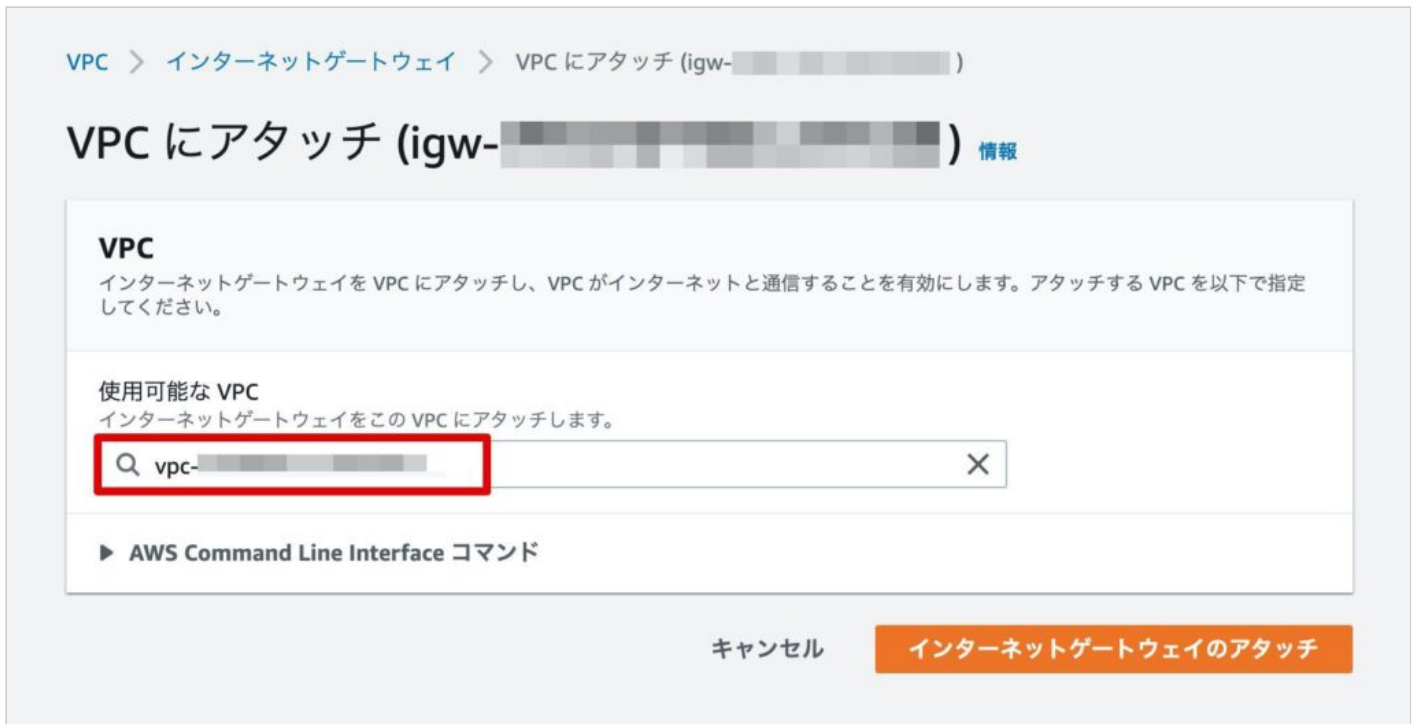


さらに 49 個の タグ を追加できます。

インターネットゲートウェイをVPCへアタッチします。

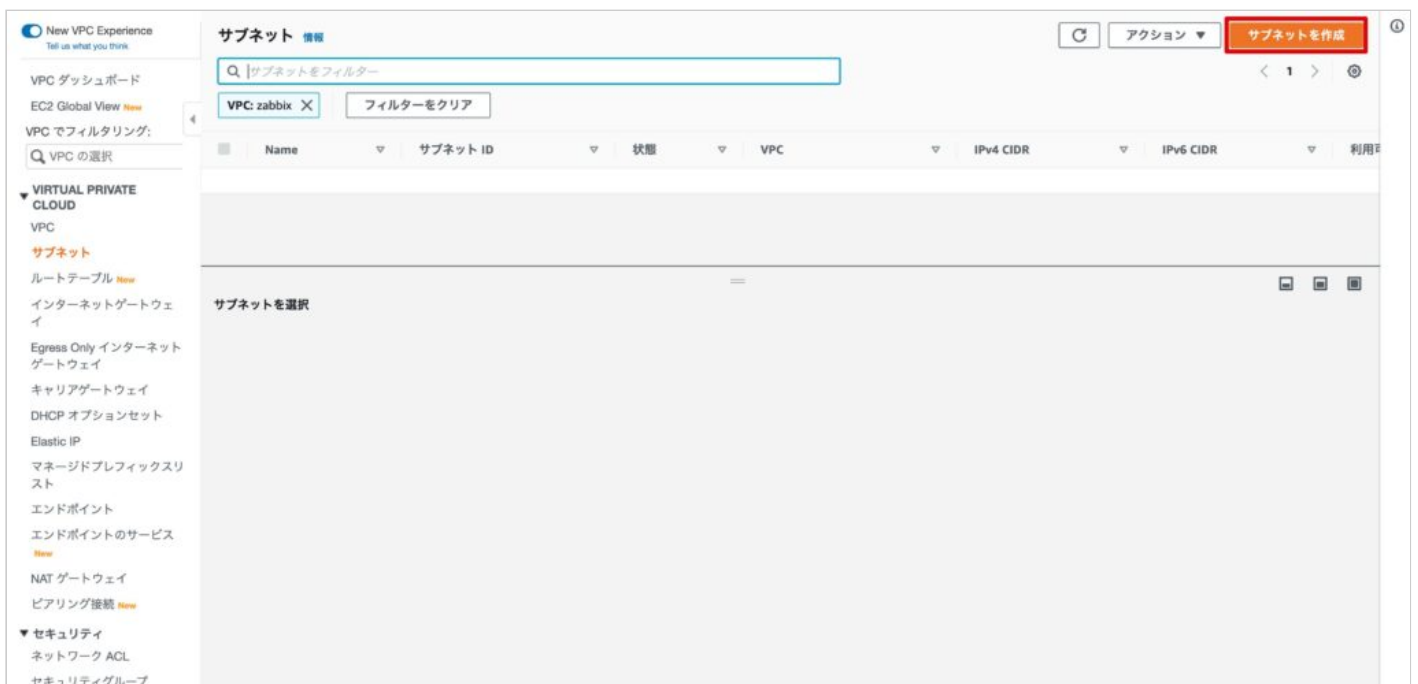
The screenshot shows the AWS VPC console interface. At the top, a green banner indicates that the Internet Gateway has been created and is ready to be attached to a VPC. The main content area shows the details for the Internet Gateway 'igw-...' with the tag 'zabbix-test-igw'. On the right side of the console, the 'VPC へアタッチ' (Attach to VPC) button is highlighted with a red rectangle. The left sidebar shows the navigation menu with 'インターネットゲートウェイ' (Internet Gateway) selected.

先ほど作成したVPCを選択してアタッチします。



サブネットの作成

EC2を配置するサブネットを作成します。



作成したVPCを選択します。

[VPC](#) > [サブネット](#) > サブネットを作成

サブネットを作成 情報

VPC

VPC ID

この VPC にサブネットを作成します。

vpc- (aws-zabbix-test)

関連付けられた VPC CIDR

IPv4 CIDR

10.0.0.0/16

「zabbix-subnet-01」という名前で作成しています。IPv4 CIDR ブロックは「10.0.0.0/24」とします。

サブネットの設定

サブネットの CIDR ブロックとアベイラビリティーゾーンを指定します。

サブネット 1 (1 個中)

サブネット名

「Name」というキーと、指定した値を使用してタグを作成します。

zabbix-subnet-01

名前の長さは最大 256 文字です。

アベイラビリティーゾーン 情報

サブネットが存在するゾーンを選択するか、Amazon が選択するゾーンを受け入れます。

指定なし

IPv4 CIDR ブロック 情報

10.0.0.0/24

▼ タグ - オプション

キー

Name

値 - オプション

zabbix-subnet-01

削除

新しいタグを追加

さらに 49 個の タグ. を追加できます。

削除

新しいサブネットを追加

キャンセル

サブネットを作成

※※※ポイント※※※

複数アベイラビリティゾーンにサブネットが無いと、Zabbixの構築に必要なデータベース (AWS のRDS) を作成することができません。そのため、別のアベイラビリティゾーンにもう一つのサブネットを作成します。

作成した「zabbix-subnet-01」のアベイラビリティゾーンを確認します。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for the 'サブネット (1/1) 情報' (Subnet (1/1) Information) page. The left sidebar contains navigation links for VPC, Subnet, Route Table, Internet Gateway, Egress Only Internet Gateway, Carrier Gateway, DHCP Option Set, Elastic IP, Managed Prefix List, Endpoints, Endpoints Service, NAT Gateway, and Peering Connection. The main content area displays a table of subnets with the following columns: Name, Subnet ID, Status, VPC, IPv4 CIDR, and Availability Zone. The subnet 'zabbix-subnet-01' is highlighted, showing its status as 'Available', VPC as 'aws-zabbix-test', IPv4 CIDR as '10.0.0.0/24', and Availability Zone as 'ap-northeast-1c'. Below the table, the '詳細' (Details) tab is selected, showing the subnet's ID, ARN, status, and associated VPC and Availability Zone.

Name	サブネット ID	状態	VPC	IPv4 CIDR	アベイラビリティゾーン
zabbix-subnet-01	subnet-...	Available	vpc-... aws-zabbix-test	10.0.0.0/24	ap-northeast-1c

サブネット ID: subnet-...
サブネット ARN: ...
状態: Available
アベイラビリティゾーン: ap-northeast-1c
IPv4 CIDR: 10.0.0.0/24
アベイラビリティゾーン ID: apne1-az1

「zabbix-subnet-02」を「zabbix-subnet-01」とは別のアベイラビリティゾーンに作成します。IPv4 CIDR ブロックは「10.0.1.0/24」とします。

サブネットの設定

サブネットの CIDR ブロックとアベイラビリティゾーンを指定します。

サブネット 1 (1 個中)

サブネット名

「Name」というキーと、指定した値を使用してタグを作成します。

zabbix-subnet-02

名前の長さは最大 256 文字です。

アベイラビリティゾーン 情報

サブネットが存在するゾーンを選択するか、Amazon が選択するゾーンを受け入れます。

アジアパシフィック (東京) / ap-northeast-1a

IPv4 CIDR ブロック 情報

10.0.1.0/24

▼ タグ - オプション

キー

Name

値 - オプション

zabbix-subnet-02

削除

新しいタグを追加

さらに 49 個の タグ. を追加できます。

削除

新しいサブネットを追加

キャンセル

サブネットを作成

複数のアベイラビリティゾーンにサブネットが作成されたことを確認します。

サブネット (2) 情報

サブネットをフィルター

VPC: vpc- [X] フィルターをクリア

	Name	サブネット ID	状態	VPC	IPv4 CIDR	アベイラビリティゾーン
<input type="checkbox"/>	zabbix-subnet-01	subnet-	Available	vpc- aws-zabbix-test	10.0.0.0/24	ap-northeast-1c
<input type="checkbox"/>	zabbix-subnet-02	subnet-	Available	vpc- aws-zabbix-test	10.0.1.0/24	ap-northeast-1a

サブネットを選択

ルートテーブルの設定

「zabbix-subnet-01」に割り当てられているルートテーブルをクリックします。

サブネット (1/2) 情報

サブネットをフィルター

VPC: vpc- [X] フィルターをクリア

	Name	サブネット ID	状態	VPC	IPv4 CIDR	アベイラビリティゾーン
<input checked="" type="checkbox"/>	zabbix-subnet-01	subnet-	Available	vpc- aws-zabbix-test	10.0.0.0/24	ap-northeast-1c
<input type="checkbox"/>	zabbix-subnet-02	subnet-	Available	vpc- aws-zabbix-test	10.0.1.0/24	ap-northeast-1a

subnet- / zabbix-subnet-01

詳細 フローログ **ルートテーブル** ネットワーク ACL CIDR の予約 共有 タグ

ルートテーブル **rtb-**

ルートテーブルの関連付けを編集

ルート (2)

ルートをフィルタリング

送信先	ターゲット
10.0.0.0/16	local

「ルートを編集」をクリックします。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for configuring a Route Table. The left sidebar contains navigation links for VPC, Subnets, and Routes. The main content area displays the 'Route Table (1/1)' configuration. The 'Routes' tab is selected, and a new route is being added. The destination is 0.0.0.0/0 and the target is the Internet Gateway (igw-...). The 'Add Route' button is highlighted.

Name	Route Table ID	Explicitly associated subnets	Edge association	Main	VPC	Owner ID
-	rtb-...	-	-	はい	vpc-...	aw...

rtb-0ce2c04acaa5ef25

ルートを追加

送信先	ターゲット	ステータス	伝達済み
10.0.0.0/16	local	アクティブ	いいえ

「ルートを追加」をクリックし、下記の通り設定します。

- ・送信先 : 0.0.0.0/0
- ・ターゲット : 作成したインターネットゲートウェイ

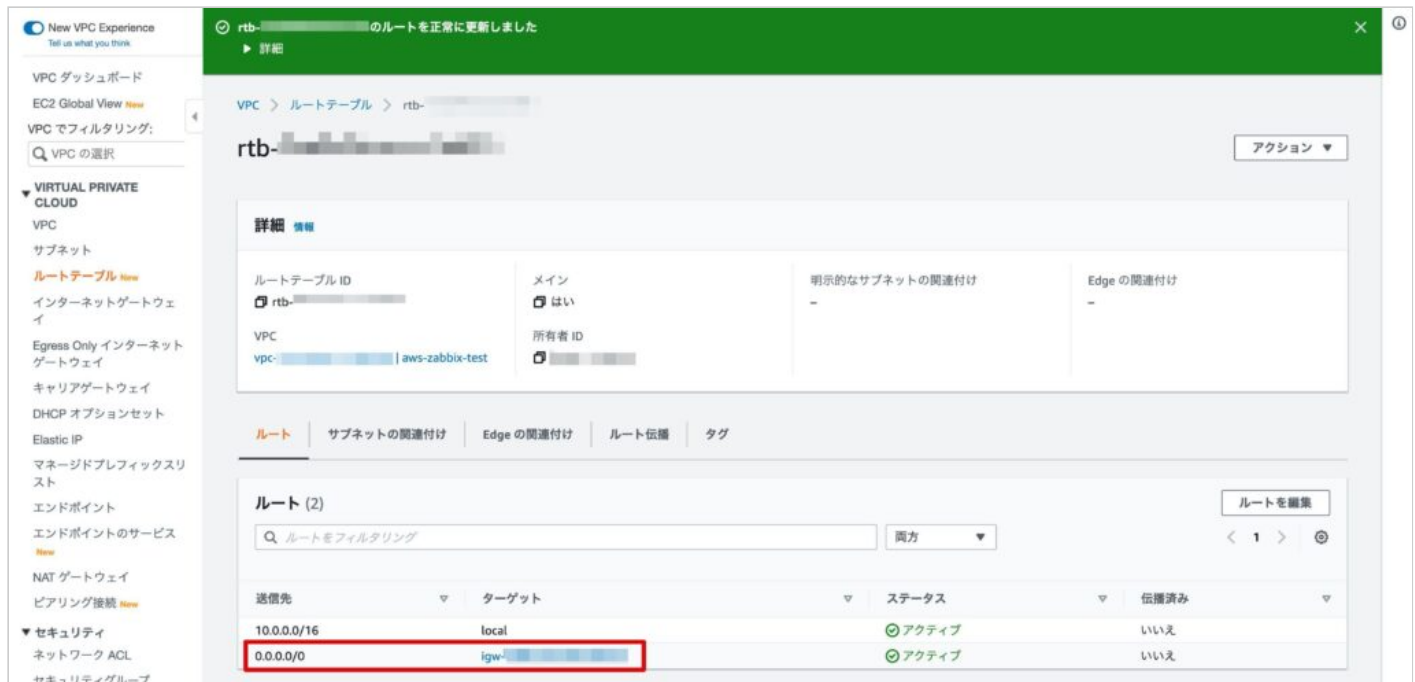
The screenshot shows the 'Add Route' dialog box in the AWS Management Console. The destination is 0.0.0.0/0 and the target is the Internet Gateway (igw-...). The 'Add Route' button is highlighted.

送信先	ターゲット	ステータス	伝達済み
10.0.0.0/16	local	アクティブ	いいえ
0.0.0.0/0	igw-... (zabbix-test-igw)	-	いいえ

ルートを追加

キャンセル プレビュー 変更を保存

ルートが追加されていることを確認します。



セキュリティグループの作成

EC2とRDSに適用するセキュリティグループを作成します。



セキュリティグループ名/説明を入力し、対象のVPCを選択したうえで、ルールを追加せずに一旦作成します。「zabbix-sg」という名前で作成しています。

VPC > セキュリティグループ > セキュリティグループを作成

セキュリティグループを作成

セキュリティグループは、インスタンスの仮想ファイアウォールとして機能し、インバウンドトラフィックとアウトバウンドトラフィックをコントロールします。新しいセキュリティグループを作成するには、以下のフィールドに入力してください。

基本的な詳細

セキュリティグループ名 情報

作成後に名前を編集することはできません。

説明 情報

VPC 情報

インバウンドルール 情報

このセキュリティグループにはインバウンドルールがありません。

[ルールを追加](#)

アウトバウンドルール 情報

作成したセキュリティグループの「Edit inbound rules(インバウンドルールの編集)」をクリックします。

New VPC Experience
Tell us what you think

VPC ダッシュボード
EC2 Global View New
VPC でフィルタリング:
Q VPC の選択

VIRTUAL PRIVATE CLOUD

VPC
サブネット
ルートテーブル New
インターネットゲートウェイ
Egress Only インターネットゲートウェイ
キャリアゲートウェイ
DHCP オプションセット
Elastic IP
マネージドプレフィックスリスト
エンドポイント
エンドポイントのサービス New
NAT ゲートウェイ
ピアリング接続 New

▼ セキュリティ
ネットワーク ACL
セキュリティグループ

セキュリティグループ (sg-...) が正常に作成されました

VPC > セキュリティグループ > sg-... - zabbix-sg

sg-... - zabbix-sg アクション ▼

詳細

セキュリティグループ名 zabbix-sg	セキュリティグループ ID sg-...	説明 zabbix-sg	VPC ID vpc-...
所有者 ...	インバウンドルールカウント 0 アクセス許可エントリ	アウトバウンドルールカウント 1 アクセス許可エントリ	

[インバウンドルール](#) | [アウトバウンドルール](#) | [タグ](#)

You can now check network connectivity with Reachability Analyzer Run Reachability Analyzer

Inbound rules Manage tags Edit inbound rules

Filter security group rules

Name	Security group rule...	IP version	Type	Protocol	Port range	Source
No security group rules found						

下記の通りインバウンドルールを追加します。

インバウンドルールは、インスタンスに到達できる着信トラフィックをコントロールします。

インバウンドルール 情報

Security group rule ID	タイプ <small>情報</small>	プロトコル <small>情報</small>	ポート範囲 <small>情報</small>	ソース <small>情報</small>	説明 - オプション <small>情報</small>
-	SSH	TCP	22	カスタム	ssh 削除
-	HTTP	TCP	80	カスタム	http 削除
-	HTTPS	TCP	443	カスタム	https 削除
-	MySQL/Aurora	TCP	3306	カスタム	MySQL 削除
-	カスタム TCP	TCP	10050	カスタム	Zabbix server - agent 削除
-	カスタム TCP	TCP	10051	カスタム	Zabbix agent - server 削除

自身のグローバルIPアドレスを指定

作成したセキュリティグループを指定

ルールを追加

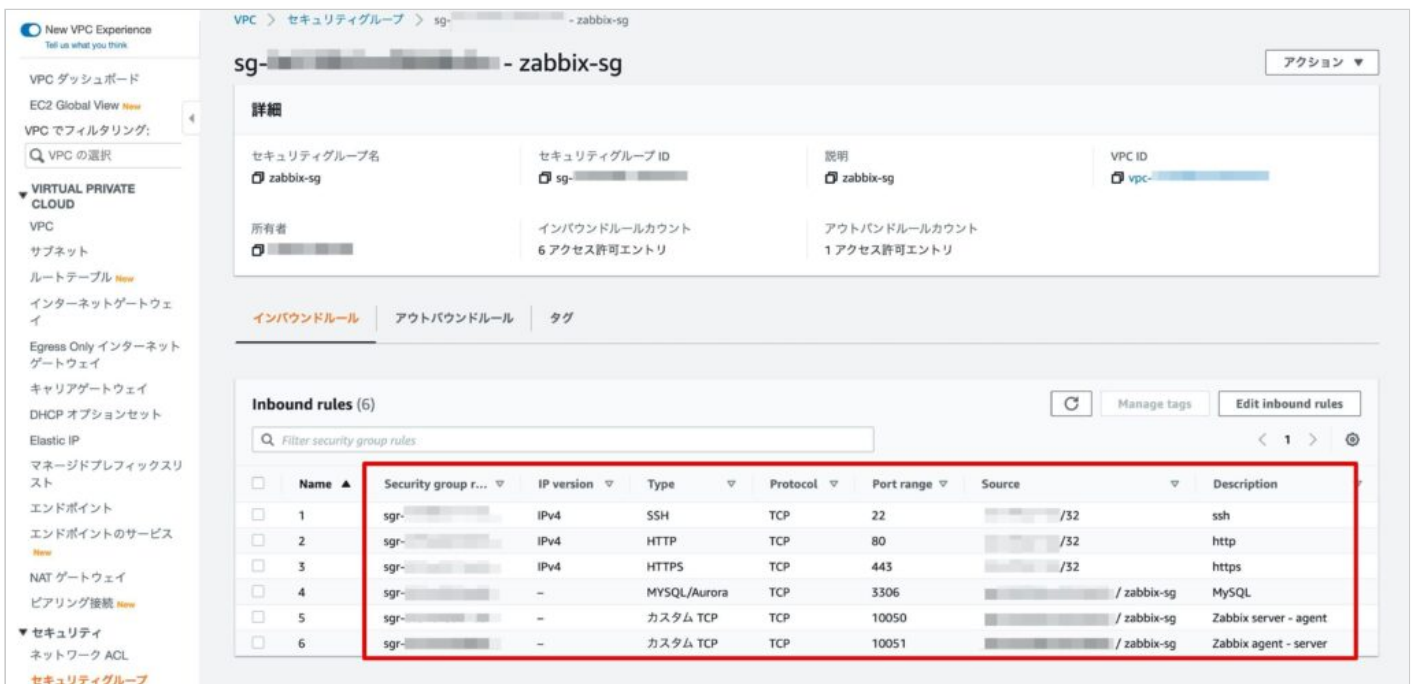
キャンセル 変更をプレビュー ルールを保存

タイプ	ポート範囲	ソース	説明
SSH	22	自身のグローバルアドレス	ssh
HTTP	80	自身のグローバルアドレス	http
HTTPS	443	自身のグローバルアドレス	https
MySQL/Aurora	3306	作成したセキュリティグループ	MySQL
カスタムTCP	10050	作成したセキュリティグループ	Zabbix server – agent
カスタムTCP	10051	作成したセキュリティグループ	Zabbix agent – server

自身のグローバルアドレスは、[CMAN](#)のIPアドレス確認ページで確認できます。



セキュリティグループにインバウンドルールが追加されていることを確認します。



これで、AWS上での監視サーバー(Zabbix)構築【1.AWSの基本設定】の説明は完了です！